

えと
干支香炉 薰路くゆらす 虎の耳
未来見つめて 舞台を護る

令和四年一月二十三日

大中臣正比呂



先週、筆者の誕生日プレゼントにもらった虎の香炉は、耳から松榮堂の「薰路」の煙を出す。三十六年に一度巡ってくる年男で、次回はちと、あやしいのだが、未来を見つめるような虎の面容は、なかなか良いので、人生の舞台を守護する歳神様の遣いであろう。ワオー！